



## 兵庫県立大学 生涯学習公開講座ダイジェスト

平成30年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

### 【看護の視点でみる身体のしくみ】

日 程： 平成30年8月2日(木)14時～16時

受講者数： 小学校5年生から中学校3年生までの学生 27名

会 場： 兵庫県立大学明石看護キャンパス（実習室A）

講 師： 撫養真紀子、川崎優子、大田垣裕子（看護学部教員）

協力教員： ロバート・ダン（東地区英語インストラクター）

#### ○テーマ・概要

- ①身体の音をきいてみよう！ （体温と脈拍の測定、聴診器を使っての呼吸音の聴診）
- ②ボディ・トークをしてみよう！ （英語で身体のことを話そう）
- ③看護ケアを体験してみよう！ （頭痛・便秘の症状を和らげるツボ刺激）  
（心身をリラックスさせるハンドマッサージ）

#### ○内 容

今年は、「看護の視点でみる身体のしくみ」というテーマで公開講座を開催し、看護師や医療職種に関心がある小学5、6年生12名、中学生15名が参加してくれました。

体温や脈拍といった身近なサインを取り上げ、身体のしくみを説明したあと、実際に聴診器を使い、自分の呼吸や心臓の音をきいてもらいました。聴診器を初めて使った子どもたちは、音が大きく聞こえることに驚いたり、「聴こえた」と喜んだりしながら自分の体の音を聴いていました。

講座の途中には、ブレイクタイムとして英語インストラクターであるロバート・ダン先生と一緒に、ボディパーツを英語で話すゲームを行いました。恥ずかしそうにしていた参加者もいましたが、最後にはダン先生と一緒に「Thumbs up!」と笑顔になっていました。

また、看護ケアを体験してみよう！の講座では、小中学生でも最近増えているという頭痛や便秘といった症状を和らげるツボ刺激や、オイルを使ったハンドマッサージを参加者同士や自分の親に実施する体験をしました。ツボの場所や力加減が考えながら、「ここかな、これくらいかな」と悩みながら実施し、終了後には「時々便秘になるので、これから役立つ」、「マッサージをお母さんが喜んでくれてうれしかった」という感想が聞かれました。



